



PTAの活動紹介 第2回

保護者や地域の学校理解を進める

～東京都立農業高校PTA～

都立農業高校は、京王線府中駅から徒歩5分、広い農場の他に温室や製茶工場もある高校です。生徒は、普通科目と専門科目を同程度学び、調理師免許や2・3級造園技能士等の資格を在学中に取ることができますが、更に専門的に学ぶために6割近い生徒が進学しています。都立高校唯一の服飾科があり、文化祭(農高祭)で行われるファッションショーの写真が、PTA広報誌の表紙を飾ります。

生徒の学習内容を体験できるPTA活動

PTA研修は、農業科・家庭科の設置する五つの学科の学習内容を体験できるように計画され、保護者の学校理解を進めるとともに、就職や進学の参考となるよう、工夫されています。研修では、各科の教員が指導者として協力し、「てづくり研修」では、関係する部の生徒が保護者グループの指導役として活躍しています。

1 学期

- PTA総会
- かたくりを見る会
- ホテルを観る会
- 茶摘み研修…製茶工程の説明、高校の北側にある雨久保農場での茶摘み体験と、学校の敷地内の製茶工場見学
- 神代研修…調布市にある神代農場で、ニジマスの観察や、樹木の刈込み体験等

2 学期

- バス研修…毎年、行先が変わりますが、食品工場の見学、野菜狩り、こんにゃく作り体験等、農業に関わる仕事を見学・体験
- 農高祭…PTAでは、被災地支援の物産展やお茶(高校で作った府中茶)の提供。広報誌の拡大展示や来場者への配付
- 「てづくり研修」…栗まんじゅうをつくる研修では、クッキング部の生徒が指導役

3 学期

- 餅つき…神代農場で栽培したもち米を使った餅つきには、PTAのOB会が協力しています。

情報を伝えるために

農業高校の広報誌「いなほ」は年3回の発行ですが、PTA研修等の報告とともに、生徒の校外学習や学校行事についても、多くの写真を中心に紹介しています。これも、なかなか見ることができない生徒の学習活動を、保護者に伝える工夫です。夏休みに、都市園芸科の生徒の水やりや、食品科学科の生徒がお茶畑の雑草取りをしている様子も取材しています。農高祭を特集する2学期号は20ページもあり、五つの学科、3学年それぞれの企画を、生徒の声とともに掲載し、保護者が参加できなかった行事についても、この広報誌を見ながら子供と会話をしているだろうと想像できるような充実した内容です。

また、研修会等のお知らせを生徒に配付しても、保護者に渡さないことがあるため、PTAのメール配信システムで「本日、研修のお知らせを配付しました」と通知し、保護者に情報が届くよう、工夫しています。

他校のPTAとの交流活動も

●五農会

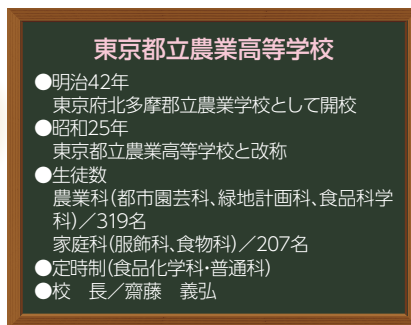
五つの都立農業系高校(農業高校、園芸高校、農芸高校、農産高校、瑞穂農芸高校)PTA交流会として、年に5回、各校を訪問し、それぞれの特色ある教育活動の紹介と学校見学を行っています。毎年、餅つきの日に農業高校での五農会を開催し、説明と見学の後に、参加者は餅つきを体験。五農会の内容も、広報誌で紹介しています。

●府中・調布都立高校PTA交流会

2市にある八校の都立高校のPTA役員が年に2回集まり、文化祭等の学校行事の報告や、PTA運営の工夫や課題についての情報交換をしています。

農業高校のPTA活動は、子供たちの成長を支え、保護者が互いに学び合う機会を提供するとともに、都市部にある農業系の高校での学習活動について、家庭や地域に伝える役割を果たしています。

「東京都公立高等学校PTA連合会」では、都内6地区ごとに役員会や情報交換会、交流会を開催しています。8月に千葉で開催された全国高等学校PTA連合会大会には、都立高校72校から172人が参加しました。東北の被災地へ高校生と共に訪問する視察事業も行っています。



東京都立農業高等学校

- 明治42年
東京府北多摩郡立農業学校として開校
- 昭和25年
東京都立農業高等学校と改称
- 生徒数
農業科(都市園芸科、緑地計画科、食品科学科)／319名
家庭科(服飾科、食物料)／207名
- 定時制(食品化学科・普通科)
- 校長／齋藤 義弘



茶摘み研修



広報誌



府中・調布都立高校PTA交流会